

令和5年8月9日(水) 学校魅力化フォーラム

教育力の向上と
学校運営の効率化を図る
学校再編



岐阜県北方町

北方町

町の概要



北方町

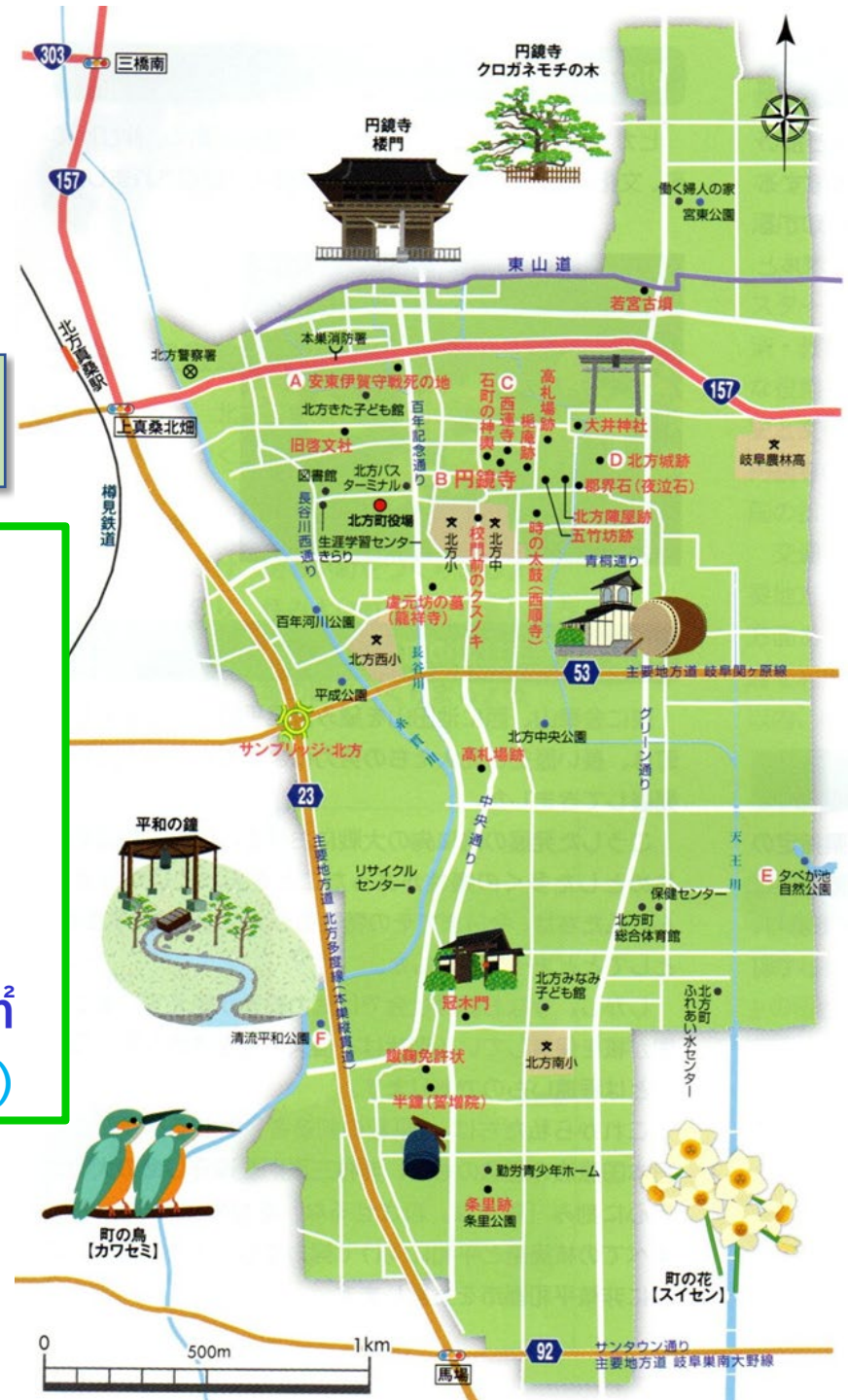
面積：5.18 km²

東西：1.85 km

南北：4.20 km

人口：18,659 人
(R5.7.1)

人口密度
3,602人/km²
(県内1位)



北方町

町の特徴

平安時代から円鏡寺の門前町



江戸時代から豪商の町として繁栄



現在 岐阜市に隣接する住宅都市



住みこちランキング 2023 も
岐阜県市町村 No.1

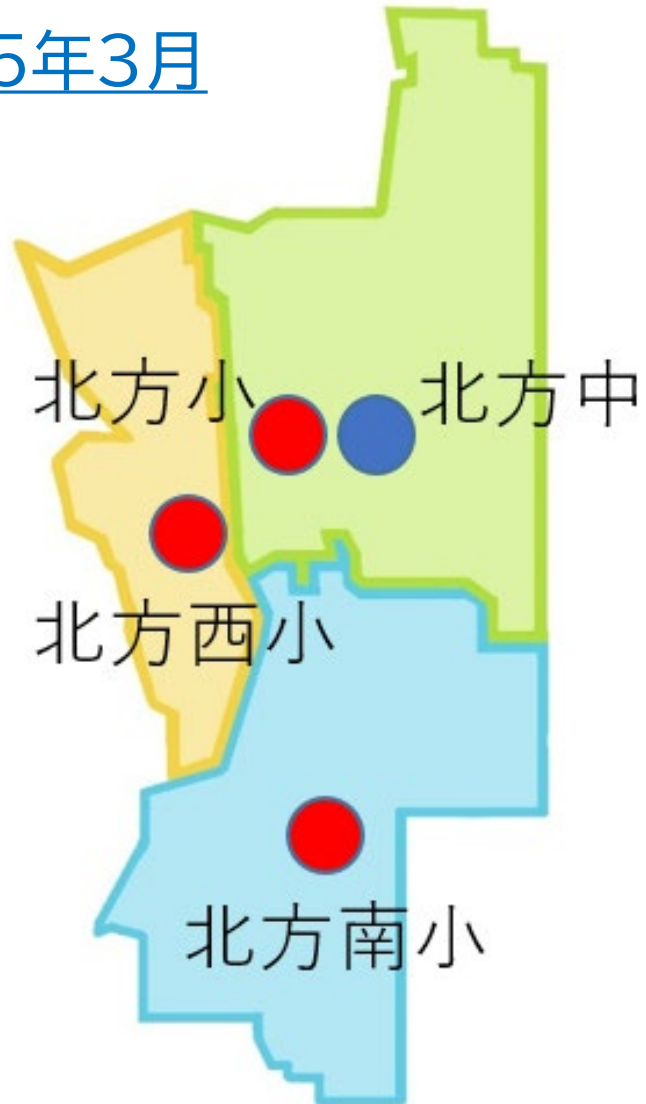
- 1 どのような再編をしたか
- 2 開校・開園に至った経緯
- 3 教育力の向上について
- 4 学校運営の効率化について
- 5 開園・開校して、今思うこと

どのような再編をしたか

令和5年4月

「小学校3校と中学校1校」を「義務教育学校2校」に再編

令和5年3月



令和5年4月



どのような再編をしたか

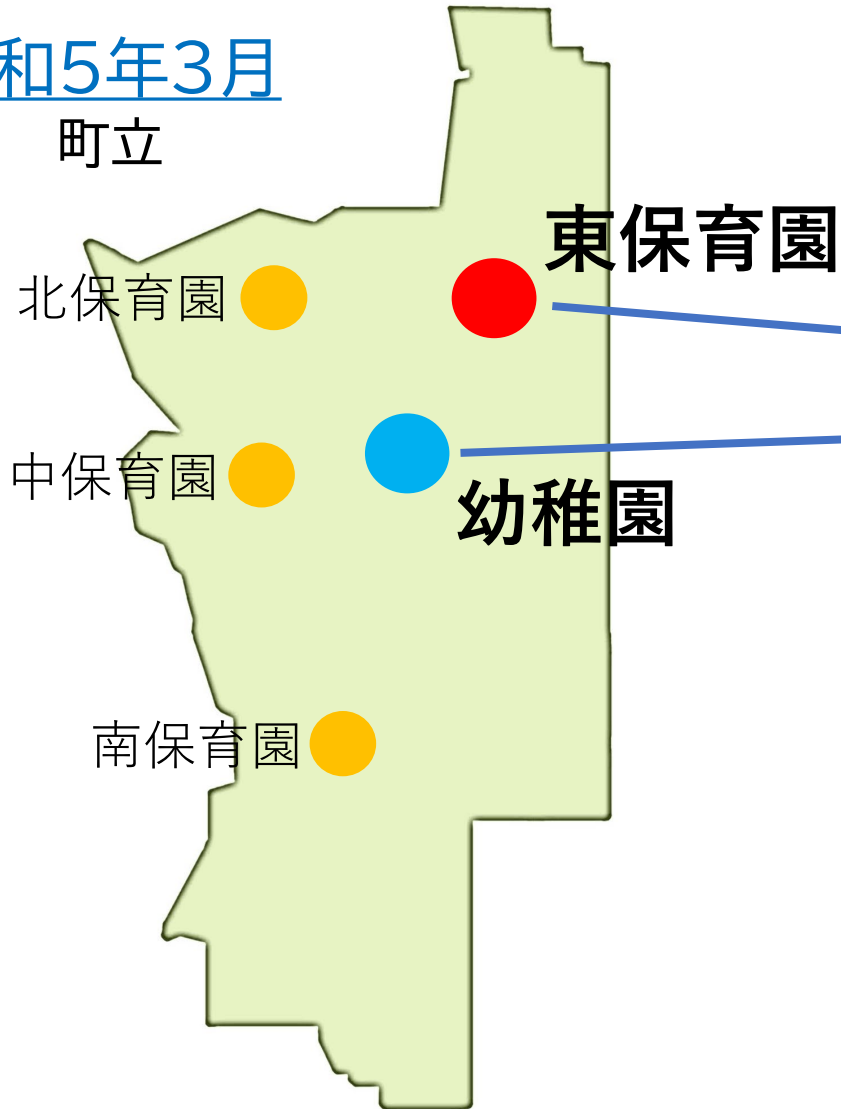
令和5年4月

「幼稚園」と「東保育園」を「こども園」に再編

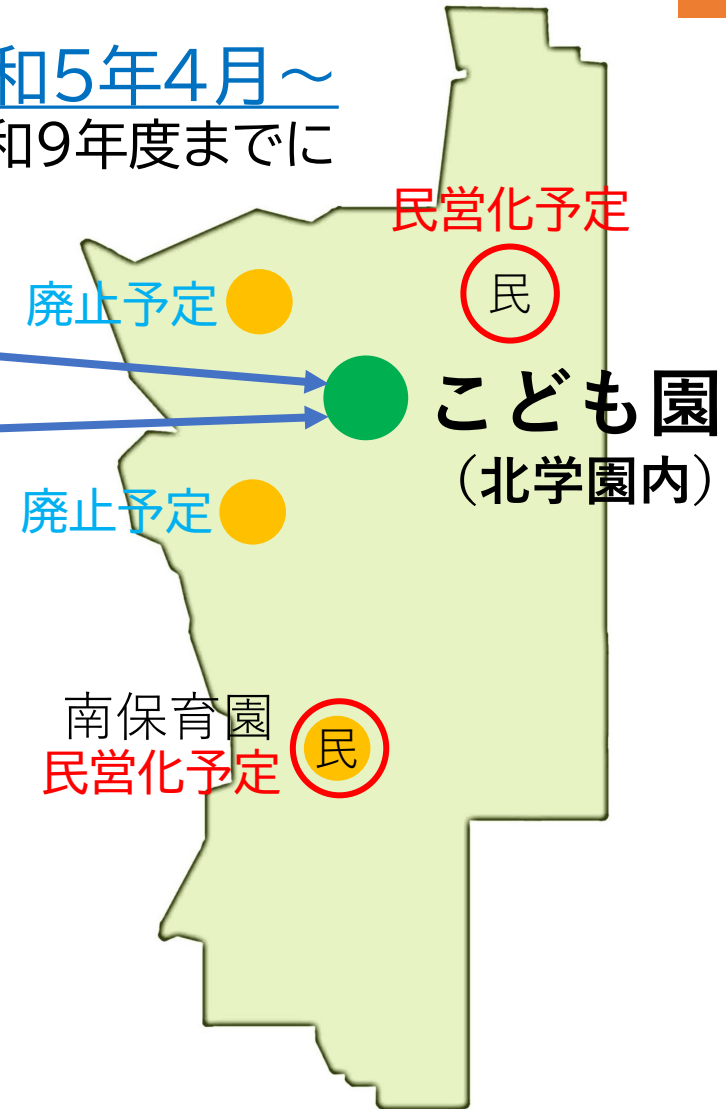
幼保期の
大切さ

令和5年3月

町立



令和5年4月～
令和9年度までに



どのような再編をしたか

□ 令和5年4月 2校と1園 開校・開園



北方町立
北学園



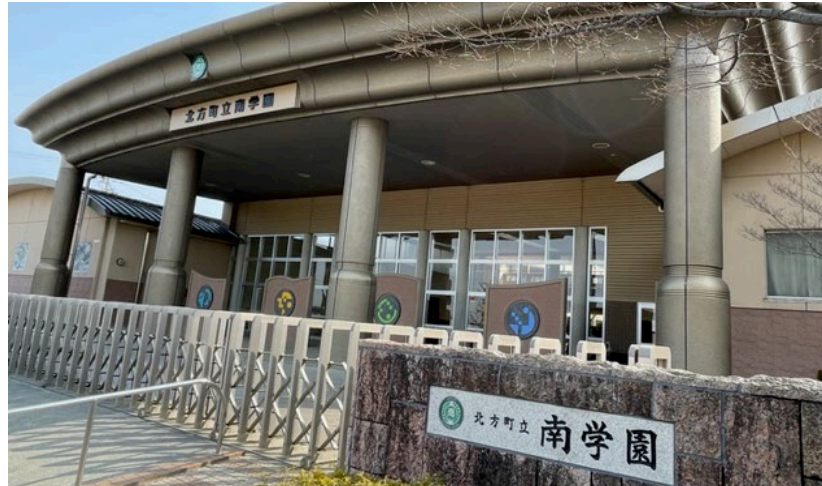
北方町立
南学園



北方町立
こども園



義務教育学校



義務教育学校



幼保連携型認定こども園

「北方学園」：北学園、南学園、こども園の総称

「独自のカリキュラム」や「幼保小架け橋プログラム」を作成し、幼保小中一貫15年間教育をスタート

開校・開園に至った経緯

開校・開園前の問題

校舎の老朽化



北方小

512人(R4)

最高時517人

H20

空き教室 修繕費 単学級

北方西小

179人(R4)

最高時595人

S59

空き教室

北方南小

342人(R4)

最高時556人

H16



空き教室 通学距離

北方中

538人(R4)

最高時770人

S61

プラス
+

町立幼稚園
町立保育園
施設の老朽化


□ 平成29年12月 町として下記2つを目指す再編方針を決定

1 教育力の向上

幼保小中一貫教育の推進（義務教育学校、こども園）

2 学校運営の効率化

空き教室の増加（最大収容：2,438人→計画時(R1)：1,596人）
園舎や校舎の老朽化（修繕費が嵩む）



築年数の新しい校舎（南小、北方中、北小北舎）を活用し、足りない部分を整備して統合する

北方小学校



校舎の老朽化


北方西小学校



空き教室 R4:179人(最高595人)

多額の修繕費が必要なうえ、学年単学級となり、クラス替えができない

特に喫緊の課題となったこと



平成29年12月

北方学園構想を公表 「西小の児童数激減（開校時比）」 「北小等の施設の老朽化」 「空き教室」等の問題から

平成30年4月～平成31年3月

学校構想検討委員会 「教育力の向上」 「町の魅力」 「効率化」の観点から推進すべき
(大学教授、県教委、議会代表、自治会代表、保護者代表、教職員代表等)

令和元年6月

「北方学園構想基本計画」を公表 「中学校が分かれる」 「マンモス化する」 「部活の部員数が減る」
「学校間の道路が閉鎖される」 「議論が尽くされていない」等の声もあった

令和元年8月～令和5年3月

開校準備委員会、専門部会 「施設部会」 「PTA・校名等部会」 「学校運営部会」 「部活動部会」 「北方科部会」
「幼保連携部会」 「ICT,英語教育部会」 「一貫カリキュラム部会」を設置

令和元年度～令和2年度

設計・建築開始

令和3年度～令和4年度

建築・整備

令和5年4月

開校・開園



こども園



北学園



南学園

【課題となったこと】

緑の文字：課題に対する対応策

□ 教育内容に関すること

- ・中学校が別れることに反対 … 合同活動の設定、町立進学塾の設立、北方学園としての結びつき
- ・部活動が衰退する(部員数が減り指導者が必要) … 地域クラブの設立、小中協力体制
- ・マンモス化し目が行き届かなくなるので統合は反対 … 校内体制の整備、多くの教員で指導
- ・議論が尽くされていない、説明不足 … 各種会合での説明、毎月の広報連載、各種アンケート等
- ・9年間同じメンバーでいることが心配 … 交流活動の設定(合唱、進路学習等)、指定校変更
- ・6年生の活躍の場が減ることが心配 … 多様な異学年活動の計画
- ・学校行事や日課はどうなるのか … 一貫校のよさを生かした設定(卒業式等)
- ・開校前後の教職員の多忙化 … 加配の配置(備品の整備、教育計画等)

□ 施設設備等に関すること

- ・学校を一体化するための廃道による不便さ … 数多くの説明会(安全重視)
- ・これまでの学校の伝統が途切れることへのさみしさ … 文化財指定、北方科等
- ・校章、校歌、制服、鞆等の制定に関すること … 買い替えなし、校歌引継ぎ、公募選択制等

部活動

学校、地域、保護者が共同運営する北方学園クラブとして活動します

「北方学園クラブ」として北学園と南学園に同じ部活動を開設し、必要に応じて合同で活動します。

平日

週3日 学園での部活動

平日夜間・休日

社会人指導員や保護者によるクラブ活動

運動系

野球	バスケットボール(男女)	バレーボール(男女)
サッカー	剣道	陸上
ソフトボール	ソフトテニス	卓球
ダンス		

文化系

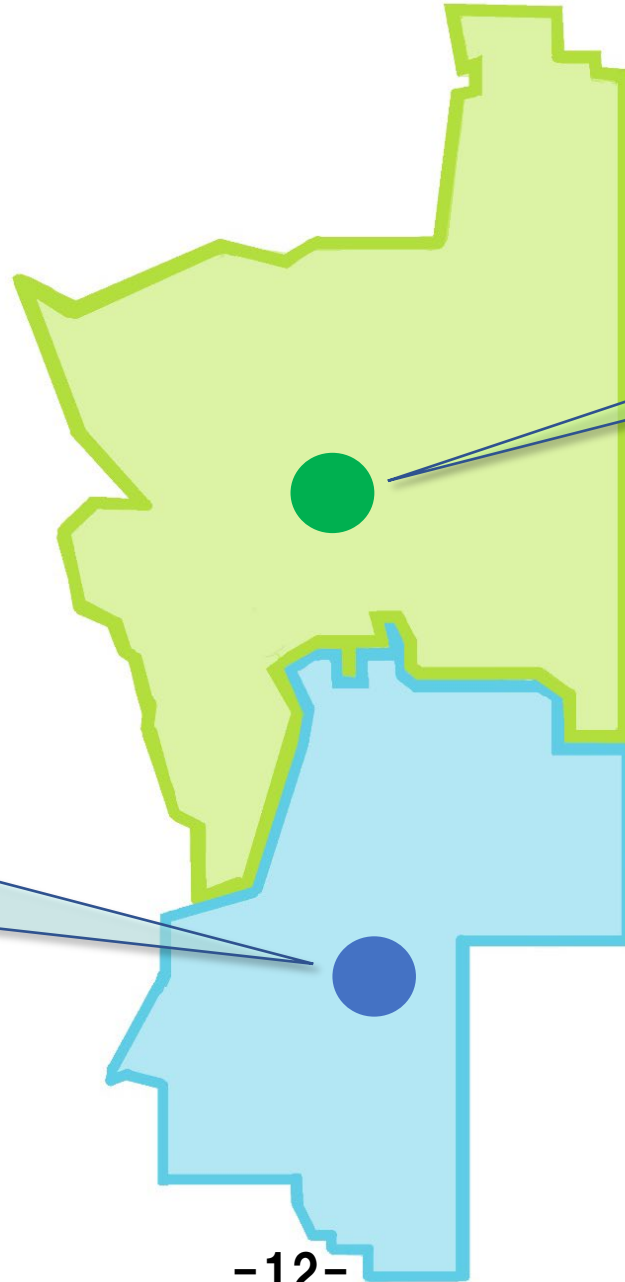
合唱	英会話
コンピュータ	家庭科
美術	



令和5年4月 開校・開園



南学園
義務教育学校 501人



北学園
義務教育学校 1057人



こども園
幼保連携型 180人

幼保小中一貫保育教育

15歳まで切れ目なく着実に力を伸ばします

「無理な段差」「意欲を削ぐ繰り返し」をなくし、「適度な段差」を設けます

教職員が
1つとなり

15年間を見
通した教育
を行う



15年間一貫
カリキュラ
ムを作成



こども園・保育園・学園の連携により15年間を見通した教育を行います



子どもの将来 を見据えた 特色ある教育

15年間を見
通した教育
を行う

ICT教育

主体的、対話的で
深い学びをめざす
ICT教育



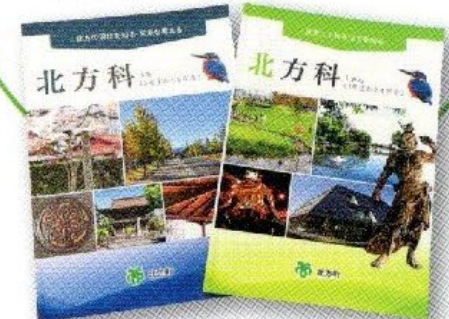
英語教育

楽しみながら
コミュニケーション力を
伸ばす英語教育



北方科

郷土愛を深めるとともに
未来を切り拓く力を育む
北方科



0歳児 1歳児 2歳児 3歳児 4歳児 5歳児 1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生 7年生 8年生 9年生

1 ICT教育

様々なものに興味をもち、 発見を楽しむ	自分で考えやり切る 楽しさを知る	タブレットに 慣れる	学習に 活用する	文房具として活用し 学習の理解を深める	問題解決力を 伸ばす
------------------------	---------------------	---------------	-------------	------------------------	---------------

2 英語教育

言葉で遊んだり、 表現したりして楽しむ	経験や考えを伝え合う 喜びを味わう	英語に出会う	英語に 慣れ親しむ	英語で 理解し合う	英語で意見を伝え合う
------------------------	----------------------	--------	--------------	--------------	------------

3 北方科

身近な生活や季節行事 などに触れる	地域の自然や生活に 触れ、関心をもつ	町の自然や 人と遊ぶ	町のよさを 学ぶ	町の歴史や現状を 理解する	町の将来を 考える
----------------------	-----------------------	---------------	-------------	------------------	--------------

幼保小中一体施設



教育力の向上について

北方科

(独自教科)

(1)郷土愛を深めるとともに、未来を切り拓く力を育む

(2)各教科の学びを深める



[学習内容例]

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
町の自然や人などと触れる		町のよさを学ぶ		町の現状や歴史を理解する			町の将来を考える	
町探検		町のよさ		現状	歴史	安全環境	産業	政治
<ul style="list-style-type: none"> 町の歌「北方のかほり」 昔の遊び体験 地域の方への感謝会 	<ul style="list-style-type: none"> 町の道案内 写真で町紹介 町の生き物調べ 	<ul style="list-style-type: none"> 町のお店屋さん 町の地図づくり 町の昔話 	<ul style="list-style-type: none"> 町の祭り 町の偉人 糸貫川調べ 	<ul style="list-style-type: none"> 町の新聞記事 町の人口密度 町のデータのグラフ化 	<ul style="list-style-type: none"> 北方合戦と安藤守就 町の史跡 戦時中の町のくらし 	<ul style="list-style-type: none"> 町の安全を守る提案 町の防災 町の安全施策 	<ul style="list-style-type: none"> 町の産業 町の産業活性化のための提案 町での職場体験 	<ul style="list-style-type: none"> 町の将来をプレゼンテーション 平和学習のまとめ 町の政治や行政
<p>各教科で学んだ内容について、北方町ではどうかを追究する。</p>								

□ 一貫校のよさを生かした教育を進める

安心

子ども理解 15年間の見通し

子ども：多くの先生に相談できる
教員：小さい時から知っている
保護者：顔なじみの先生がいる



楽しい

教科担任制 一貫カリキュラム

子ども：専門的な授業が受けられる
教員：教材の系統性がよくわかる

元気

切れ目のない地域・保護者連携

子ども：地域の人とのつながりが深まる
地域：学校に対する理解が深まる

「園・学校も元気、地域も元気」

基本理念

だれもが安心して学び合える学園

楽しい授業・活動

- 15年間一貫の保育教育計画
- 各学年に適した教科担任制
- ICTの有効活用

安心できる園・学校生活

- 9年生までの見通しが持てる園・学校生活
- 途切れない幼児児童生徒指導
- 保護者や地域との連携強化

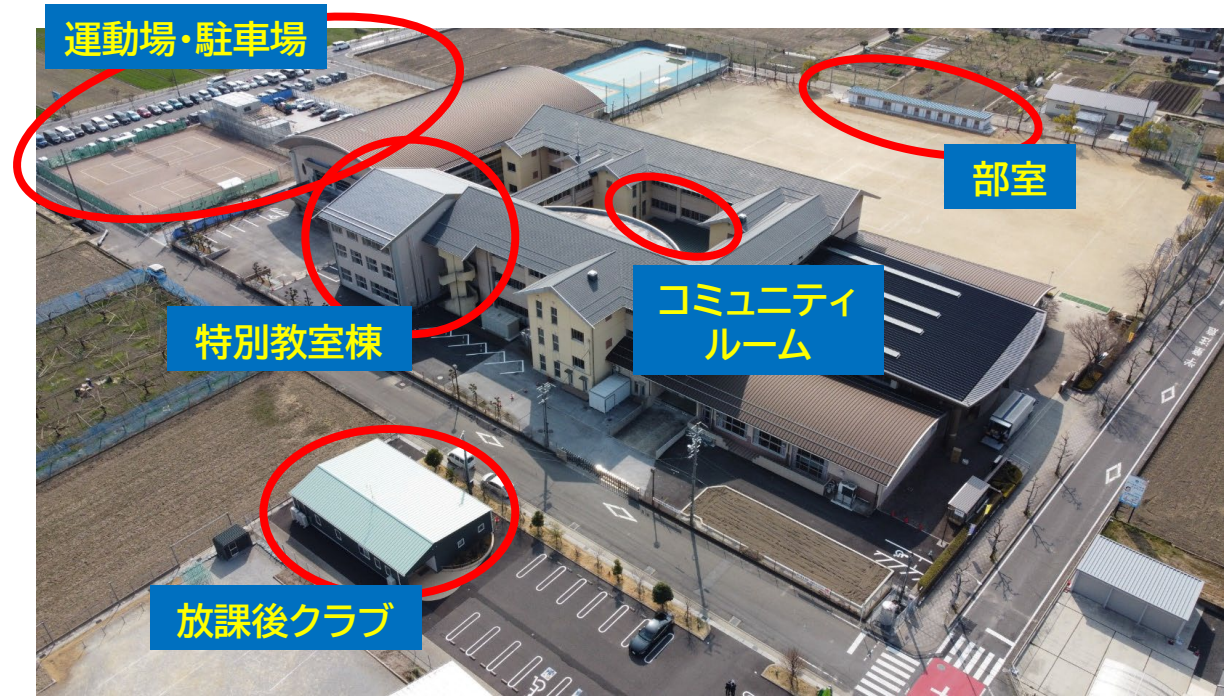
自信につながる活動

- 多様な異学年交流による豊かな心の育成
- 独自教科「北方科」の実施
- 英語教育の充実

15年間の一貫教育

主体的で「たくましい北方の子」

学校運営の効率化について



北学園

南学園

既存の施設の活用
& 新設増築

○ 新築増築
した施設



こども園

学校運営の効率化について

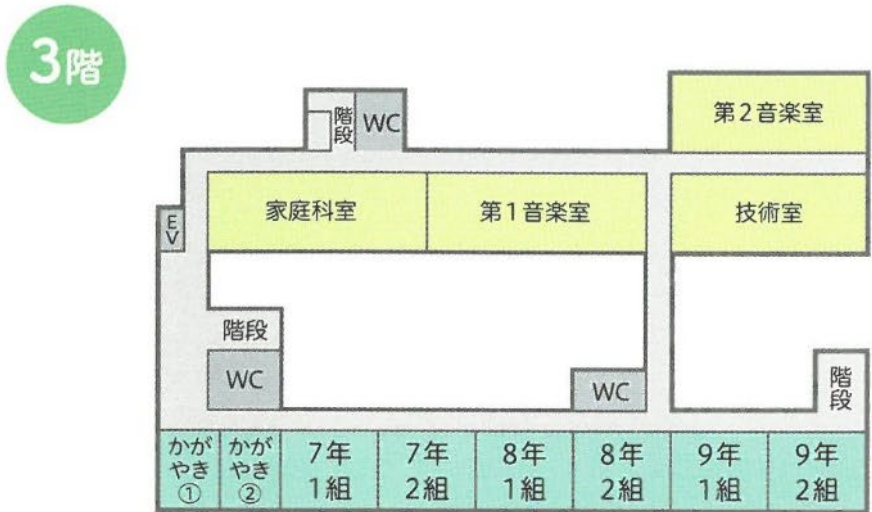
北学園 こども園 配置図



子どもの
人数に応じた
適正規模に

学校運営の効率化について

南学園 配置図



子どもの
人数に応じた
適正規模に



北学園全景



南学園全景

学校運営の効率化について

□ 建設費用

工事(基本計画分)	基本計画	執行額	補助金	起債	交付税措置額	一般財源
北学園中棟新築(外構含む)	1,090,000,000	1,066,212,140		920,367,918	460,183,959	145,844,222
北学園旧小学校解体	110,000,000	92,100,000		82,890,000	41,445,000	9,210,000
北学園旧中学校改築	60,000,000	59,526,500		46,083,074	23,041,537	13,443,426
南学園特別教室棟新築	370,000,000	548,203,810	111,787,000	393,806,606	196,903,303	42,610,204
南学園旧小学校改修	150,000,000					
南学園運動場拡張	40,000,000	消防費・災害対策費 造成 68,000,000 用地 34,000,000				
こども園新築・改修	180,000,000	398,828,100	6,545,000			
給食調理場新築	660,000,000	696,080,000	86,633,000			
工事合計	2,650,000,000	2,860,950,550	204,965,000	2,276,668,933	1,138,2334,467	379,316,617
全工事	基本計画	執行額	補助金	起債	交付税措置額	一般財源
放課後児童クラブ、備品等		3,669,972,144	468,886,600	2,520,200,000	1,260,100,000	680,885,544

○ 西小、幼稚園、保育園の修繕維持費見込み(30年間見通し) : 約32億円

○ 学校、こども園関係建築整備費 : 21億6千万円 -22-

【よかったこと】

- ・安定的に小学校高学年の教科担任制ができていること。
- ・中学生にあたる7,8,9年生の生活ぶりが落ち着いたこと。
- ・多様な異学年交流により活力が生まれていること。
- ・教職員の視野や意識が広がったこと。
- ・修繕費(含将来)、維持費、人件費等、園・学校運営が効率化できたこと。

教科に自信のある先生に教えてもらえるようになって授業が楽しい。
(6年生児童)

9学年のリーダーだと思えば、手間はかかるけど、充実感は大きい。
(9年生生徒)

中学生にあたる7,8,9年生が小さい子と登校し、微笑ましいし、生き生きしてきた。
(地域の方)

小中の教職員が1つになったことで、子どもの情報がすぐに得られるようになった。
(教職員)

【課題に感じていること】

- ・両学園の交流、特色づくりに関すること。
- ・6年生の活躍の場に関すること。
- ・不登校への効果に関すること。

宿泊学習など、多くの行事を、両学園がいっしょに行うのは、準備に手間がかかりすぎる。無理のないように工夫していく必要がある。
(教職員)

6年生のリーダーとしての活躍の場が減ったように感じ、心配だ。
(保護者)

まだわからないところもありますが、幅広い年齢の子ども、様々な個性の教職員が1か所に集うことで、活力が生まれていると感じています。

開校当初は、不登校傾向のあった子どもも意欲的に登校していたが、時間の経過とともに不登校傾向になってきている。
(教職員)